

第3回 ~ゼロカーボン 通信~ 「二酸化炭素排出量実質ゼロを目指して！」

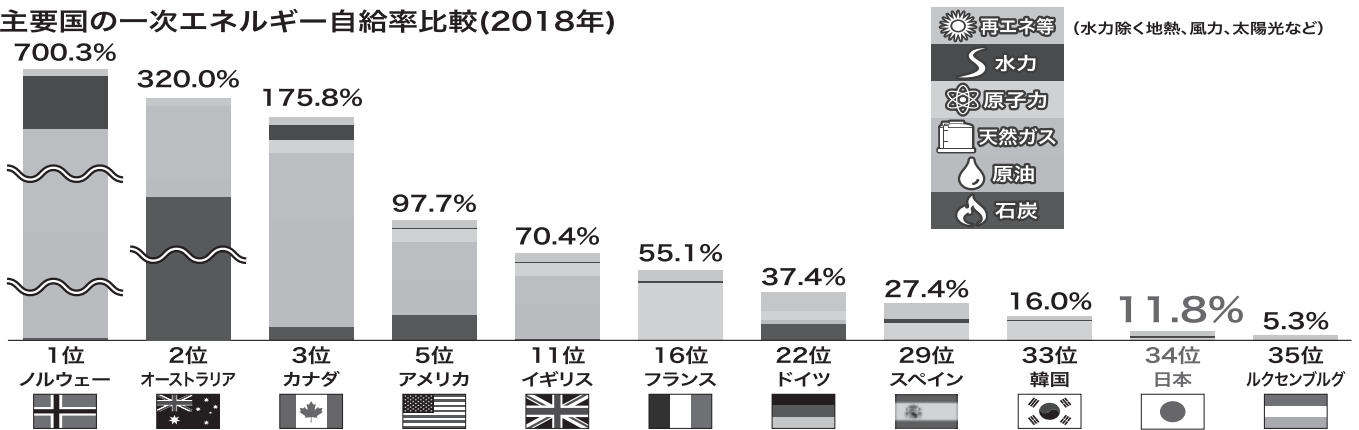
第3回目は、エネルギーの自給率についてお伝えします。下図のとおり、日本のエネルギー自給率は、東日本大震災前の2010年に20.3%ありましたが、2018年には11.8%となっており、他のOECD（経済協力開発機構）諸国と比べても低い水準にあります。日本のエネルギーは海外から輸入される石油・石炭・天然ガス（LNG）など化石燃料に大きく依存しており、東日本大震災以降、化石燃料への依存が高まった影響から2018年度は85.5%を依存している状況です。

エネルギー自給率の推移

Q 日本は、国内の資源でどのくらいエネルギーを自給できていますか？

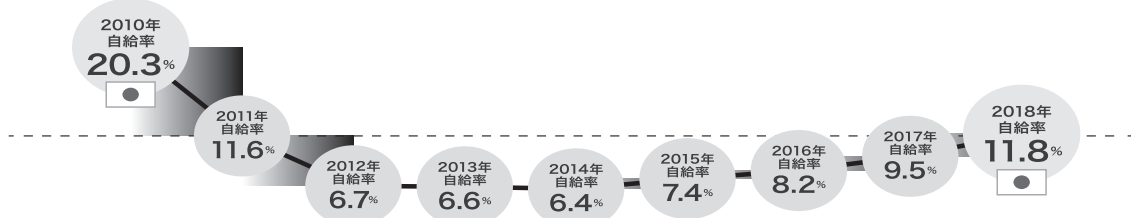
A 2018年の日本の自給率は11.8%で、他のOECD諸国と比べても低い水準です。

主要国の一次エネルギー自給率比較(2018年)



出典：IEA「World Energy Balances 2019」の2018年推計値、日本のみ資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」の2018年度確報値。※表内の順位はOECD35カ国中の順位

我が国のエネルギー自給率

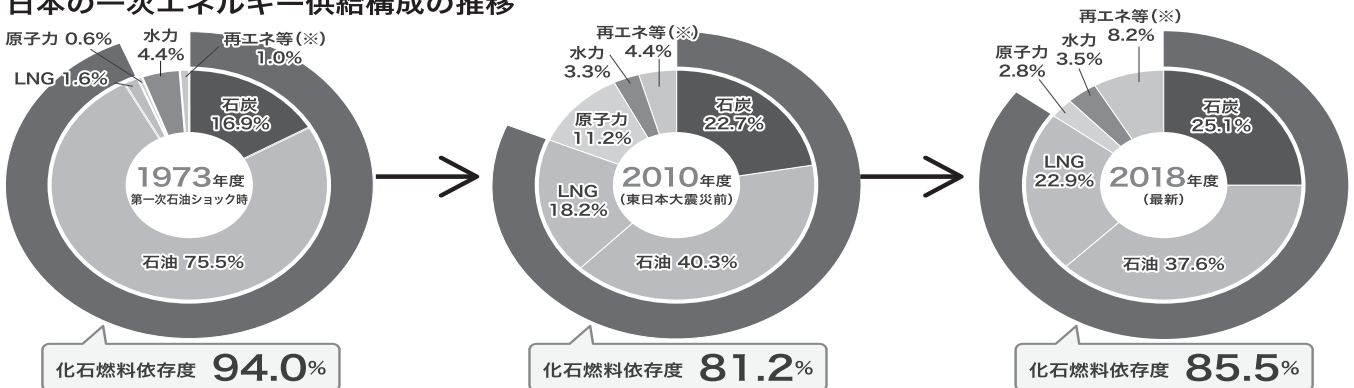


一次エネルギー：石油、天然ガス、石炭、原子力、太陽光、風力などのエネルギーのもともとの形態
 エネルギー自給率：国民生活や経済活動に必要な一次エネルギーのうち、自国内で産出・確保できる比率

Q 日本はどのようなエネルギーを利用していますか？

A 海外から輸入される石油・石炭・天然ガス(LNG)など化石燃料に大きく依存しています。東日本大震災以降、化石燃料への依存度は高まっており、2018年度は85.5%です。

日本の一次エネルギー供給構成の推移



出典：資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」
 ※四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。再生エネ等(水力除く地熱、風力、太陽光など)は未活用エネルギーを含む。

出典：資源エネルギー庁「日本のエネルギー 2020」

問合せ 環境課環境保全係 ☎72-6916